

公益財団法人 米日カウンシル—ジャパン

U.S.-Japan Council (Japan)

2023年度事業報告

2023 Business Report

- 概要

公益財団法人米日カウンシルージャパン（以下本法人）は、第12年度の事業を終えるに至り、多岐にわたる活発でダイナミックなプログラムを通して、主たる公益事業における目標を数多く達成し、日本における人と人とのネットワークを一層拡大しました。また、持続可能な組織基盤を固めることができました。

4年目に入った新型コロナウイルス感染症のパンデミック下において、本法人は対面とオンラインの形式でプログラムを実施しました。

本法人が企画且つ監督し、また実施においては協働パートナーの支援を受けた活動を通して、日米の多数の若者がTOMODACHI イニシアチブに参加しました。TOMODACHIプログラムに参加した多くの若者が、人生の転機となる経験をしています。有意義な国際交流により、参加者は多様で素晴らしい絆を結ぶことができました。また、プログラムで学んだことにより、若者たちは新たな興味を抱き、内なる自信を持てるようになりました。2023年には、教育・文化・リーダーシップの分野で、TOMODACHIプログラムを12件実施し、総計169人の日米の若者が参加しました。

本法人はTOMODACHIイニシアチブの活動の延長として、発足以来1万人を超えたTOMODACHIプログラム経験者にTOMODACHIアラムナイ・プログラムを提供しています。2023年度にはTOMODACHIアラムナイ・プログラムとして53件の活動が実施され、参加したアラムナイ835名はリーダーシップを強化するための経験、様々な出会いやスキルを得る機会を持ちました。

また、本法人は日米関係に共通の関心を持つ経済界や政府、非営利団体などのリーダーを対象に人々の交流を実施しました。本法人は、米国の米日カウンシルと共催で第12回アニュアル・カンファレンスを2023年11月にワシントンD.C.で開催しました。日米両国のあらゆる分野から600名近くのリーダーが出席し、現在、最も優先されるべき事項に関して幅広く議論が交わされました。本法人のネットワーキング／一般教育プログラムであるビジネス・アドバイザー・ボードは、本年度中に対面で3回実施され、日米のリーダー合計206名が日米関係における双方の関心事について議論をしました。また、日系アメリカ人ストーリーテリング・プログラムでは、本法人のメンバーが日本の若者に前向きな教育的メッセージを伝えています。日本国内の49大学の協力を得て、35名の素晴らしいスピーカーが合計64回のプレゼンテーションを実施し、1年2学期（春および秋）を通して約1,700名の大学生が参加しました。

- **目的**

本法人は、日米関係にとって最も重要な側面である、日米のあらゆる世代の人と人とのつながりを推進し、教育、文化、経済における絆を強化し、日米両国の長期にわたる友好関係を深めることを目的としています。

本法人の中核事業は日米の次世代を育成する官民パートナーシップ、TOMODACHIイニシアチブ（TOMODACHIイニシアチブまたはTOMODACHI）の運営です。在日米国大使館との協力のもと、教育プログラムとスポーツ・音楽・芸術分野における文化交流プログラム、リーダーシップ・プログラムの3分野のプログラムを実施しています。また、本法人はTOMODACHIプログラム体験者を対象としたTOMODACHIアラムナイ・プログラムを運営しています。同プログラムはアラムナイが互いにに関わり合い、刺激を与え合いながら、リーダーシップスキルを継続して向上させるためのプログラムを提供しています。

本年度は、本報告書に記載した通り、本法人が選考し出資したプログラムの運営管理を行いました。また、TOMODACHIイニシアチブのいくつかの活動は、ワシントンDCを拠点とする米国非課税団体米日カウンシル(U.S.)の支援を受けて実施しています。

III. 事業

- **公益事業—TOMODACHI 教育プログラム**

教育プログラムの目的は、双方の国での体験を通して日米の若者に刺激を与え成長を促すことです。広範囲にわたる多様なプログラムを提供し、教育および交流の機会を通して日米の若者が関わり合いを持つことで、日米関係全般を強化することをTOMODACHIイニシアチブは目指しています。本法人が2023年度に支援したTOMODACHI教育プログラムは以下の3件です。

TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム

TOMODACHI-UNIQLO フェローシップ

TOMODACHI カケハシ イノウエ・スカラーズ・プログラム

B. 公益事業—TOMODACHI 文化交流プログラム

文化交流プログラムは、日本人とアメリカ人がお互いの国について学び、長期にわたり、相互に関心を持続させるきっかけを提供します。TOMODACHIは既存の文化交流プログラムを

支援したほか、新規の革新的な活動を支援しました。本法人が2023年度に支援したTOMODACHI文化交流プログラムは以下の1件です。

TOMODACHI ゴールドマン・サックス・ミュージック・アウトリーチ・プログラム

C. 公益事業－TOMODACHI リーダーシップ・プログラム

TOMODACHIは、次世代を担う若きリーダーを成功に導き、彼らが地域社会や母国、そして世界全体に前向きな変化を作り出すために必要なスキルと専門知識を習得するプログラムを実施しています。2023年度のプログラムには、高校生および大学生を対象としたリーダーシップ・プログラムが含まれました。本法人の支援で実施されたリーダーシップ・プログラムは以下の8件です。

Building the TOMODACHI Generation: Morgan Stanley Ambassadors Program
TOMODACHI J&J災害看護研修プログラム

TOMODACHI-STEM Women's Leadership and Research Program

TOMODACHI Boeing Entrepreneurship Seminar

TOMODACHI Story Jam for Youth with Disabilities

TOMODACHI Toshizo Watanabe Leadership Program

TOMODACHI U.S.-Embassy Go for Gold スポーツ・リーダーシップ・プログラム

TOMODACHI サマー・ソフトバンク・リーダーシップ・プログラム2.0

D. 公益事業－TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・プログラム

TOMODACHIの経験を基に実施されるアラムナイ・リーダーシップ・プログラムは、日米の若者たちがさらに経験を積み、スキルを向上させ、自信をつけることでインスピレーションと活力を得て、夢を実現し、より良い世界の構築に貢献できる人材となるように支援しています。本法人は、アラムナイが強固で永続的な関係を築くために、関わり合い、刺激し合える多様な機会を提供します。

TOMODACHIアラムナイ地域フレームワークは、地域代表（RR）が日本の6地域、米国の5地域でそれぞれの活動を率いて、アラムナイが相互に関わり合い、交流するプログラムです。また、2023年には新しい役割・機会として、アラムナイがより多く関りを持つようコア・コミッティ（CC）が設けられ、地域代表を支援しています。

2023年度のTOMODACHIプログラム終了時点で、TOMODACHIアラムナイは1万人を超え、TOMODACHI世代と一員となりました。日本と米国の各地から参加したプログラム経験者は14歳から40歳と幅広い年齢層となっています。本年度は835名のTOMODACHIアラムナイが下記を含む53のプログラムとイベントに参加しました。全プログラムのうち23プログラムはアラムナイによって組織、運営されました。

- **TOMODACHI アラムナイ地域フレームワーク**
 - 地域代表11名（日本6名、米国5名）がオリエンテーションを実施
 - 新たにメンバーとなった9名のコア・コミッティーを歓迎（日本4名、米国5名）
 - 2023年11月にワシントンD.C.において、地域代表とコア・コミッティーがワークショップを実施
 - 日本：北海道、東北、関東、関西、九州、沖縄にて地域イベントを12回開催
 - 米国：ニュー・インブランド、ニューヨーク、ワシントンDC、南カリフォルニアにて地域イベント13回開催
 - TOMODACHI Monthly Huddlesを10回開催（2023年4月ー2024年1月）
- **TOMO-KIN キャリアトーク**
 - 春開催（2023年3月）ゲストスピーカー PGF生命保険株式会社 執行役員 福田匡孝氏
 - 夏開催（2023年5月）ゲストスピーカー 米日カウンセルージャパンの事務局長、池野昌宏氏
 - 秋開催（2023年10月）ゲストスピーカー Apple Japan 合同会社 代表取締役社長 秋間亮氏
 - 冬開催（2023年12月）忘年会
- **次世代サミット 2023**
 - 2023年7月1日に開催 160名が参加
 - アラムナイ14名が登壇し、経験を参加者に共有
 - 日米の政財界のリーダーを含む各分野の専門家16名による講演、ワークショップを実施
- **TOMODACHI ニュースレター・アラムナイハイライト（インタビュー）**
 - アラムナイが仲間であるアラムナイ10名のインタビューを実施し、マンスリー・アラムナイ・ニュースレター、マンスリー TOMODACHIニュースレター、隔週発行のUSJCニュースレターに記事を掲載
- **米国総領事館および日本大使館との協業イベント**
 - 札幌、大阪・神戸、福岡、那覇で各地の米国総領事館の支援を受け、地域イベント4回を実施
 - ニューイングランド地域のTOMODACHIアラムナイ地域代表が在ボストン日本国総領事館にて地域イベントを開催
 - 3回にわたって、総計15名のアラムナイがUSJCビジネス・アドバイザリー・ボードに出席し交流
 - 首席公使レイモンド・F・グリーン氏が次世代サミット2023の交流会で学生と交流し、レセプションでスピーチを行った
 - 武藤顕氏（当時：外務省研修所長（大使） 現在：特命全権大使 ロシア国駐箚）が次世代サミットでスピーチを行い、学生たちと交流した。

E. 公益事業－ネットワーキング／一般教育活動

本法人は、TOMODACHIイニシアチブに加え、日米関係の主要分野における絆を強化するため、ネットワーク構築と一般教育活動に取り組みました

- **米日カウンシル・アニュアル・カンファレンス**

本法人は米日カウンシル（米国）と共に、『持続可能かつ安全で包摂的な未来の共創』をテーマに掲げ、米日カウンシル・アニュアル・カンファレンスをワシントンD.C.で開催しました。第12回カンファレンスでは600名近くの参加者が一堂に会しました。重要な変化をもたらす解決を生み出すために日米両国が協力し、相互に学ぶ方法を探るプログラムを通して両国の絆を強化しました。

最後の全体会議セッションでは、TOMODACHIアラムナイ2名がスピーチを行いました。

- **ビジネス・アドバイザリー・ボード**

米日カウンシルと経済界の絆を強化するために、2014年に創設されたビジネス・アドバイザリー・ボード（BAB）ミーティングが2023年度も継続して実施されました。米国と日本で功績を収めたエグゼクティブリーダーがBABを率いています。本年度は下記のとおり対面でミーティングが3回実施され、合計206名のメンバーとゲストが参加しました。

29回 BABミーティング（2023年2月22日）

基調講演：慶應義塾大学名誉教授 阿川尚之教授

モデレーター：アシュリオンジャパン・ホールディングス合同会社 ゼネラウ・カウンセルアジア ジェニファー・ロジャーズ氏

「日米同盟は盤石か？ ～アメリカ社会の分断、日本人の平和主義の影響～」

第30回 BABミーティング（2023年5月23日）

アフラック生命保険株式会社 代表取締役会長/アフラック・インターナショナル取締役社長 チャールズ D. レイク II氏

「アフラックの共有価値の創造（CSV）経営戦略」

第31回 BABミーティング（2023年8月30日）

金融庁国際審議官 有泉 秀氏

「日本経済の未来－金融セクターの視点から」

- **日系アメリカ人ストーリーテリング・プログラム（JASP）**

本プログラムでは、本法人のリーダーおよびメンバーが日本の大学で学ぶ若者に前向きな教育的メッセージを伝えていきます。プログラムの多様なテーマを反映し、JASPのスピーカーは、次世代を担う若いリーダーやシニア・エグゼクティブ、日系三世や四世、新一世、新二世、バイレイシャル／マルチエスニック日系人、私企業や非営利団体に所属する社会人、東京、沖縄、ハワイ、米国本土に居住する人など多岐にわたっ

ています。移民が体験する寛容と共感、差別と偏見の克服、社会における多様性の強み、日米間の懸け橋の構築など、あらゆるテーマが取り上げられました。こういったテーマが個人的な家族の物語を通して語られます。

2020年秋の立ち上げから、JASPは、日本全国の50を超える大学で4,700名以上の学生に180を超える個人的なストーリーを語ってきました。日本国内の49大学の協力を得て、35名の素晴らしいスピーカーが合計64回のプレゼンテーションを実施し、1年2学期（春および秋）を通して約1,700名の大学生が参加しました。

IV. ガバナンス

本法人は引き続き定款に則り評議員会および理事会を運営します。

• 役員

理事会（2023年12月31日現在）

理事会役員

スザンヌ・バサラ 代表理事

米日カウンシル会長兼CEO

ヘンリー・聖一・高田 代表理事

シンテックジャパン株式会社 代表取締役

岩本 展枝 監事

PwCあらた有限責任監査法人 テクノロジー・エンターテイメント アシュアランス部

ディレクター

公認会計士

理事

大出隆

学習院女子大学 国際学研究所 顧問

ジェニファー・ロジャーズ

アシュリオンジャパン・ホールディングス合同会社

ゼネラル・カウンセル アジア

谷 美由紀

モルガン・スタンレー・キャピタル株式会社

エグゼクティブディレクター

スティーブ・サカナシ

株式会社Matchbox Technologie グローバル推進 マーケティング戦略 取締役

亀田 綾子

シェルエネジージャパン ゼネラルマネージャー

評議員会（2023年12月31日現在）

評議員会役員

評議員

藤井 ダニエル 一範

トラスト・キャピタル株式会社 代表取締役社長兼CEO

ウィリアム・アイアトン

アイアトン・エンタテインメント株式会社 最高経営責任者

大河原 愛子

株式会社デルソーレ 代表取締役会長

スコット 佐藤

サークレイス株式会社 取締役会長

津坂美樹

日本マイクロソフト株式会社 代表取締役社長

- 役員会

本法人は2023年度において理事会4回、評議員会1回を開催しました。議事は以下の通りです。

2023年3月14日 -理事会（定足数を充たし成立）

- 第11期事業年度（2022年1月1日から12月31日）の事業報告書および内閣府提出書類の「組織の状況概要と事業活動」の承認
- 第11期事業年度（2022年1月1日から12月31日）の貸借対照表と損益計算書(以下財務諸表)、財務諸表の附属明細書、財産目録の承認
- 定時評議員会の日時および評議員会における報告と承認事項の提案
- 代表理事および事務局長による事業報告
- TOMODACHI イニシアチブの最新情報の報告

2023年3月29日 -評議員会（書面による全員一致の同意をもって成立）

- 第11期事業年度（2022年1月1日から12月31日）の監査済み事業報告書ならびに附属明細書の承認
- 第11期事業年度（2022年1月1日から12月31日）の貸借対照表、損益計算書（財務諸

- 表)、財務諸表の附属明細書、財産目録の承認
- ・ 理事、評議員、監査役の選任
- ・ 第12期事業年度(2023年1月1日から12月31日まで)の事業計画書、予算と収支、および「資金調達および設備投資の見込み」の報告
- ・ 代表理事および事務局長による事業報告

2023年6月7日 – 理事会(定足数を充たし成立)

- ・ 第12期(2023年1月1日から12月31日まで)の監査法人の選任と承認
- ・ 第12期事業年度(2023年1月1日から12月31日まで)四半期財務報告書
- ・ TOMODACHIイニシアチブの最新情報
- ・ 代表理事および事務局長による第12期事業年度の中間事業報告

2023年9月6日 – 理事会(定足数を充たし成立)

- ・ 第12期事業年度の中間財務報告書
- ・ TOMODACHIイニシアチブの最新情報
- ・ 代表理事および事務局長による第12期事業年度の中間事業報告

2023年12月13日 – 理事会(定足数を充たし成立)

- ・ 2024年度事業計画の承認
- ・ 2024年度予算案の承認
- ・ 2024年度の「資金調達および設備投資の見込み」の承認
- ・ 2024年度の評議員会の開催日時・場所の決定
- ・ 2023年度のアニュアルカンフェレンス収支の配分の承認
- ・ 代表理事および事務局長による2023年度末の事業報告
- ・ 2023年9月30日付の中間財務報告書
- ・ TOMODACHIイニシアチブの最新情報

- ・ **組織に関する最新情報**

2023年12月31日付 スタッフ一覧

池野昌弘 – 米日カウンシル(日本)事務局長)

橋本彩 – TOMODACHIイニシアチブ プログラム・ディレクター

宇多田カオル – ディレクター、プログラム&パートナーシップ(USJC米国スタッフ)

加藤ひろみ – TOMODACHI イニシアチブ ファイナンス&オフィス・マネージャー

朝倉愛以 – TOMODACHIイニシアチブ プログラム・マネージャー

甲斐ちなみ – 米日カウンシル(日本) アドミニストレイティブ&ディベロップメント・マネージャー

渡部奈々 – TOMODACHIイニシアチブ プログラム・コーディネーター

宍戸由加里 – TOMODACHIイニシアチブ プログラム・コーディネーター

高木香奈-TOMODACHIイニシアチブ プログラム・アシスタント (パートタイム)
上山真紀-TOMODACHIイニシアチブ TOMODACHIニュースレター マーケティング
(パートタイム)

- **ACCOUNTING**

E. 寄付者

2023年 TOMODACHI 寄付者

日本アムウェイ合同会社

日本アムウェイ財団

ボーイング+

シェブロン+

ダウ・ケミカル日本株式会社+

エクソン・モービル・ジャパン合同会社

株式会社ファーストリテイリング*

ゴールドマン・サックス証券株式会社

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

キッコーマン株式会社

三菱UFJリース株式会社*

三菱UFJ証券ホールディングス株式会社*

三菱UFJニコス株式会社*

三菱UFJ信託銀行株式会社*

モルガン・スタンレー・ホールディングス株式会社*+

株式会社三菱UFJ銀行*

MUFG Union Bank, N.A. *

ノースロップ・グラマン+

プルデンシャル財団+

ソフトバンクグループ株式会社*+

住友商事株式会社
田中産業株式会社
トヨタ自動車株式会社
渡邊利三財団+
在東京米国大使館*

* 寄付は前年度までにされていますが、この寄付によるプログラムが2023年も継続されています。

+ 寄付は米日カウンシル（米国）が受領しています。

2023年 米日カウンシル寄付者

AIGジャパン・ホールディングス
アマゾンジャパン合同会社
日本アムウェイ合同会社
株式会社青山財産ネットワーク
匿名の寄付者
匿名の寄付者
あいおいニッセイ同和損保
Bridge Asia Foundation
株式会社デルソーレ
イーソリューションズ株式会社
EY Japan株式会社
富士通株式会社
Google Japan
株式会社ヒガ・インダストリーズ
株式会社日立物流
フリーハン・ローキー株式会社
日本アイ・ビー・エム株式会社
日本航空株式会社
日本空港ビルディング株式会社
日本産業パートナーズ株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
ジュニパーネットワークス
川原 K. ラッセル & 裕子
キックマン株式会社
KPMGジャパン あずさ監査法人
株式会社ローソン
メジャーリーグベースボール ジャパン
日本マイクロソフト株式会社
三菱重工業株式会社

三井不動産株式会社
モルガン・スタンレー・ホールディングス株式会社
株式会社三菱UFJ銀行（MUFG Union Bank, N.A.）
日本電気株式会社
西村あさひ法律事務所
NTT グループ
日本オラクル株式会社
オリックス株式会社
PAGインベストメント・マネジメント株式会社
パロアルトネットワークス株式会社
PwC Japan グループ
ジェニファー・ロジャーズ
株式会社ロキグループ
シェルジャパン株式会社
ソニー株式会社
住友商事株式会社
サントリーホールディングス株式会社
株式会社システムソフト（fabbit）/アパマン
田中正明・裕子
谷美由紀
読売新聞社
東京海上ホールディングス
東急株式会社
株式会社 東急ホテルズ&リゾーツ
ロジスティード株式会社
株式会社PXP
株式会社えばたたかこ事務所
株式会社グローバルリンクラボ
貴田守亮
五味和洋・リンダ

2023年 寄付金以外による支援者

エボリューションジャパン株式会社
早坂毅行政書士事務所
株式会社帝国ホテル
日本空港ビルディング株式会社
公益財団法人 公益法人協会
有限責任 あずさ監査法人
株式会社システムズゴー

オリック・ヘリントン・アンド・サトクリフ LLP
トライコー株式会社

2023年1月1日から12月31日に寄付金または現物寄付を米日カウンシル（日本）に提供した企業・事業・個人は上記の通りです。該当する期間前の公益財団法人 米日カウンシルージャパンの寄付情報はTOMODACHI (usjapantomodachi.org)に掲載されています。

F. 連絡先

公益財団法人 米日カウンシルージャパン
東京都千代田区紀尾井町 4 - 1
ニューオータニガーデンコート12F
電話：03-4510-3400
URL www.tomodachi.org